

『高松市病院事業経営健全化計画(平成24年度～26年度)』の取組状況 に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【平成25年度の評価】

平成26年12月2日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性および効率性の向上ならびに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画（以下「経営健全化計画」という。）」の策定、見直しおよび進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で4年目を迎える。

平成25年度の経営健全化計画の取組状況について、今年度2回（7月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成24年3月に策定した経営健全化計画（24年度～26年度）に定める、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』の実現に向けて、高松市民病院は「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まるごと医療の実践」を、香川診療所は「住民参加型医療の提供」を、基本的な考え方として、「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいる。

今回の評価対象となる平成25年度は、経営健全化計画の中間年度に当たることから、これまでに取り組んできた努力が実を結び、一定の成果を期待していたところ、評価項目51項目中、43項目、実に84%で「順調」又は「概ね順調」という結果になっている。これらの成果を踏まえ、病院事業全体の収支が、2年連続の黒字、しかも、市民病院、塩江分院及び香川診療所のそれぞれにおいて黒字となったことは、経営の健全化が着実に推進されているものと評価する。

しかしながら、病院運営の最重要課題の一つである高松市民病院の医師確保機能の強化については、十分な成果が上がっていないことから、新たな取組みを検討するとともに、国の医療制度改革により医療機関を取り巻く環境が大きく変わる中、病院運営におけるDPC分析については、その重要性を職員が認識し、効果的な利用を図る必要がある。

また、災害発生時の地域医療は、自治体病院としての重要性を踏まえ、引き続きDMA Tの指定・編成の取組み等を継続するように求める。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成25年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、または目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組みを進め、年度末(一定期間経過後)に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組みが不十分または、取組みを進めるものの、年度末(一定期間経過後)に、成果が得られる見込みが少ない。
×	かなり遅れている。	消極的または、目標達成のための取組みができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① 高松市民病院

経営健全化計画に係る取組状況については、20項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は4項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は10項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は6項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で70%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

救急医療体制及び病診連携体制の強化への取組みの成果が、それぞれ救急車受入件数及び患者紹介率・逆紹介率に数値として表れている。また、ヒヤリハット報告会を年間14回開催するなど医療安全に積極的に取り組むとともに、高松市立病院医療事故公表基準に基づく医療事故等の公表から、医療の透明性の確保にも積極的に取り組んでいることが認められる。

しかしながら、医師確保機能の強化及びDPC分析の充実については、前年度から進展が見られず、改善に取り組む必要がある。

なお、災害医療については、目標に掲げるDMATの整備が制度的な面から達成できていないものの、大規模災害時のマニュアルの策定や防災訓練が実施されていることを踏まえ、能力的にはDMATに相当するチームを既に準備していることを評価する。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H25	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	4項目	20%
評価結果『○』とした項目	10項目	50%
評価結果『△』とした項目	6項目	30%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	20項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○
2 医師確保機能の強化	△
3 医師の安定確保に向けた条件整備	○
4 看護師、コメディカル職員等医療人材の確保機能の強化	○
5 スペシャリストの育成	○
6 医療安全	◎
7 医療品質	○
8 災害医療	◎
9 感染症医療	○
2 人間関係	
1 チーム医療体制の充実	△
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
3 患者と病院の信頼関係の構築	○
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	△
2 各種病院サービスにおける利便性の向上	○
3 施設環境の整備	△
4 地域社会	
1 地域医療連携の強化	◎
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	○
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	○
2 管理体制	
1 管理体制	△
3 一体化	
1 一体化	△
総合評価	○

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、16項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は9項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は7項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

地域医療スピリッツの開催及び香川大学医学部の寄附講座(地域包括医療学講座)の活用等により、香川大学との連携を推進しながら、塩江分院の特徴である訪問診療、訪問看護等の実績を着実に積み上げていることを評価する。

分院の基本方針の一つである、「地域まるごと医療」の実践に順調に取り組んでいるが、高齢者が多く、山間部に位置する地域性を考慮し、災害医療へのさらなる取組み強化を期待したい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H25	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	9項目	56%
評価結果『○』とした項目	7項目	44%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	16項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策		総括評価
取組項目(大分類)		
取組項目(小分類)		
1 医療の質の確保		
1 医療技術		
1 地域医療の推進		◎
2 医師確保機能の強化		◎
3 医師の安定確保に向けた条件整備		◎
4 スペシャリストの育成		○
5 医療安全		◎
6 医療品質		○
7 災害医療		○
2 人間関係		
1 チーム医療体制の充実		◎
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進		◎
3 患者と病院の信頼関係の構築		○
3 アメニティ		
1 患者の視点に立ったサービスの提供		◎
2 施設環境の整備		○
4 地域社会		
1 共に支え合う体制の整備		○
2 医療の透明性の確保		
1 情報の積極的な発信		
1 情報の積極的な発信		◎
3 医療の効率性の確保		
1 効率化		
1 効率化		○
2 管理体制		
1 管理体制		
3 一体化		
1 一体化		◎
総合評価		◎

③ 香川診療所

経営健全化計画に係る取組状況については、15項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は6項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は7項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は2項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で87%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

全国的にも注目されるプロジェクトの「私のカルテ」のさらなる推進と進化に期待したい。また、計画目標を上回る年間16回にもものぼる健康教室・出張講座の実施に、住民の中に入っていき積極的な姿勢が見受けられ、「住民参加型の医療の提供」への取組みを着実に実践していることを評価する。

ただし、災害医療及び患者の視点に立ったサービスの提供に積極的な取組みを要する。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H25	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	6項目	40%
評価結果『○』とした項目	7項目	47%
評価結果『△』とした項目	2項目	13%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	15項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策		総括評価
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保		
1 医療技術		
	1 地域に密着した医療の提供	◎
	2 医師確保機能の強化	○
	3 医師の安定確保に向けた条件整備	○
	4 医療安全	○
	5 医療品質	○
	6 災害医療	△
2 人間関係		
	1 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	○
	2 患者と診療所の信頼関係の構築	◎
3 アメニティ		
	1 患者の視点に立ったサービスの提供	△
4 地域社会		
	1 住民参加の医療	◎
	2 地域医療連携の強化	◎
	3 子供たちの健やかな成長への貢献	◎
2 医療の透明性の確保		
	1 情報の積極的な発信	
	1 情報の積極的な発信	◎
3 医療の効率性の確保		
	1 効率化	
	1 効率化	○
	2 管理体制	
	1 管理体制	
	3 一体化	
	1 一体化	○
総合評価		◎